

MDS 連絡会 フォーラム&交流会・2017年 第1回

## 治療の今と医療や輸血について知ろう・共に考えよう

骨髄異形成症候群は病気本体の基本説明が難しく、「症候群」というだけに疾患の状態が人によって本当に様々です。そして、貧血が主たる症状であるため、多くの患者さんがある時期から輸血を受けることになります。

診断から直ぐに治療が開始するわけではない「経過観察」という言葉や、やがて受けることになった輸血が混雑する病院の外来で長時間、という対応にもとまどいます。

MDSの患者さん、そして患者・ご家族の方、今どうしていますか？治療や輸血、日々の過ごし方で不安や疑問がないでしょうか。この集いで直ぐに答えは出ないと思いますが、悩んでいることや困っていることを語り合いませんか？共有している問題が見えてきたら、一緒に打開策を探せるかもしれません。

日時 2017年5月13日(土) 午後2時~4時

参加費 お1人1,000円

会場 新宿GSハイム佐藤ビル 3階 RC会議室

講師 大橋晃太先生(トータス往診クリニック院長/国立がん研究センター東病院 血液腫瘍科)

主催 骨髄異形成症候群 MDS 連絡会

協賛・協力 NPO 法人血液情報広場・つばさ

賛助企業 セルジーン株式会社、日本新薬株式会社、ノバルティスファーマー株式会社、ヤンセンファーマ株式会社、大日本住友製薬株式会社、シンバイオ製薬株式会社、中外製薬株式会社、協和発酵キリン株式会社